

提 訴 状

金沢大学オフィシャル 小林 正

個人クラシック・ディスタンス競技・男子選手権において、金沢大学の笹谷淳一が失格とされました。調査依頼の回答は、Eカードに最終コントロールの通過記録がなく、バックアップラベルにも記印されていないということでした。しかしながら、最終コントロールをパンチしたという行為は、金沢大学の学生をはじめ多数の観戦者が目撃しています。

したがって、笹谷は完走したと見なされるべきと考えます。実行委員会に対して、笹谷の失格を取り消し、82分31秒を正規の記録と認定するよう提訴いたします。

回 答

指摘の事項について裁定委員で協議した結論を述べます。

事実関係

- ・E-Cardに最終コントロール（100番）の通過記録は無い
- ・バックアップラベルに印字の痕が無い

結論

・日本学生オリエンテーリング選手権大会実施規則第22条の3に「競技者は、各コントロールにおいて用意された器具を用いてコントロールカード（電子コントロールカードを含む）に正確にパンチする責任を有する」とあり、明確な通過記録が確認できない以上、責任を果たしているとは判断できず、失格と判断するのが妥当である。

説明

裁定委員は、笹谷選手が正規に通過したと判断する可能性について様々な角度から検討を加えたが、正規に通過したと判断するに値する事項を見出すことはできなかった。

コントロールの通過を記録するのは、あくまでも競技者本人の責任で行なうものであり、第三者とりわけ観戦者は競技について判断する責任を持っていると認めることは困難である。

オリエンテーリング競技は、競技中の選手がルールを遵守しているか否かを継続的に監視している審判員が不在であり、とりわけ自己責任を重んじている競技であるということに改めて強調いたします。

※技術委員会より補足

パンチに向かう写真の存在により、裁定に疑問を持たれた方もいらっしゃるかもしれませんが、今後とも写真がパンチの証拠となることはありません。ユニットに正しくe-cardをはめ込み、記印するという基本を再確認してください。

工田 泰正
遠山 文規
宮佐 俊佑